



File 08

http://www.omron-taiyo.com/

## オムロン太陽株式会社

- 所在地：別府市大字内電字中無田1407-2
  - TEL：0977-66-4447
  - 事業内容：電気機械器具の製造
  - 雇用人数：障がい者35人 健常者22人
- 沿革：1972年 創業
  - 1981年 第2工場操業
  - 1995年 ISO9001取得
  - 2000年 第5回障害者雇用促進のための職場改善コンテストで労働大臣表彰 ISO14001認証取得
  - 2004年 GD2010スタート

### 一人ひとりが主役。

### 働く喜びと、生きがいに満ち溢れた職場を目指して…。

#### 現在の障がい者の雇用状況等について

##### ■ 雇用している障がい者の状況

重度身体障がい者28人、身体障がい者7人。10歳代から60歳代までが働いており、別府市内をはじめ、近郊から通っている。

給与体系は障がい者と健常者の区別がない。

##### ■ どんな仕事をしているか

工場内での機械部品組み立て、はんだ付け、製品検査など、製造ライン上で各作業を担当。

その他、ATM内蔵ユニットの修理を行うリペア事業も担当し、総務や工場長などマネージメント部門でも働いている。

また、スタッフ部門でも働き、各部門のマネージャーとしても活躍している。



障がいを補完する機械で働きやすく

#### 障がい者を雇用して良かった点

創業当初から多くの障がい者を雇用し、ユニバーサルデザインの職場を目指して環境向上を進めてきた。労働安全衛生システムOHSAS18001を取得。

障がい者の危険リスクを減らしていこう、労働災害を起ささないようにしようと、機械の改良や職場の改善に取り組むことで、健常者を含む全員が働きやすい職場になった。

#### コメント

##### ■ 障がい者雇用担当者

総務課長 中本 雅治さん

障がい者に対しても、製品の品質上必要な面は厳しく取り組んでいます。

同期入社の人など親しい同僚がいると仲間意識が育ち、悩みを話し合うこともできるので、仕事が長続きすることにつながると思います。



##### ■ 現職障がい者

製造課 松枝 幸大さん

アビリンピック大分県大会に出場し、はんだ付け部門で金賞を受賞しました。頑張った分が認められた時にやりがいを感じます。

いろんな障がい者がいるので、皆でフォローしながら働けるところがいいです。



Let's Open up the future together

OITA 2008

#### プロセス

STEP 1

##### ■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

オムロン創業者が、社会福祉法人太陽の家の創設者らから重度身体障がい者の社会復帰のための専門工場建設、運営の援助依頼を受け、設立に協力。

太陽の家で職業訓練をしていた人たちを受け入れる形でスタート。特例子会社としては全国で2番目にできた。

STEP 2

##### ■ どんな問題点にぶつかったか

会社を設立して10年目に、重度障がいを持つ人をさらに多く雇用することを目的に第2工場を設立。

これまで就労したことがない障がい者も多かったが、機械で作業を補うなどして、作業効率を確保。

たとえば上腕に障がいがあり細かな作業が負担になる人を補うために、モニター上で目的の場所を設定すると、小さな穴に部品をひとつずつ差し込むことができる機械を開発。この機械を操作することで、他の社員の手助けがなくても業務できるようになった。



モニターを見ながら小さな穴に部品を入れる作業

STEP 3

##### ■ それに対してどんな改善策を取り、工夫をしてきたか



作業し易く椅子や机を工夫

改善点は一つ一つ整理してホームページ上で紹介。弱い握力でも扱いやすいピンセットなど、改善前と改善後ともに写真を添付して解説。

改善点を広く紹介することで、他の会社などでも障がい者の雇用促進、職場改善につながられる。

障がい者を含め、一人ひとりが工場内でさまざまな作業工程をこなせるようになる多能工化を目指している。

個人個人の到達度を4段階で評価し、表を張り出すことで、個人のやる気と能力を広げている。

#### 社内環境

社員の互助会「むろん会」で社員旅行を計画するほか、イベントにも積極的に協力し参加している。

車いすマラソンや車いすバスケットなどにも選手を輩出。選手は就業時間短縮などの配慮により、練習の時間を確保、活躍につながっている。

